

どうなってる? 京都の自然

みやこ

# 京の生きもの 生息調査

## レポート 2019



京都市では、令和元年度から新たに、緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を把握するため、市民の皆様にご協力いただき、市内で見られるツバメ、ハグロトンボ、カワセミの生息状況を調査する「京の生きもの生息調査」を実施しています。

令和元年度の調査では、ホームページ、Instagram等を通じて239件の報告をいただき、以下のことが分かりました。

○ツバメ、ハグロトンボ、カワセミのいずれの種も広く市内で確認できました。

○京都市には、市街地においても、鳥や昆虫が生息できる緑地や小魚が住める水辺が広がっていることが分かりました。

→調査結果の詳細は次ページ以降を御覧ください!

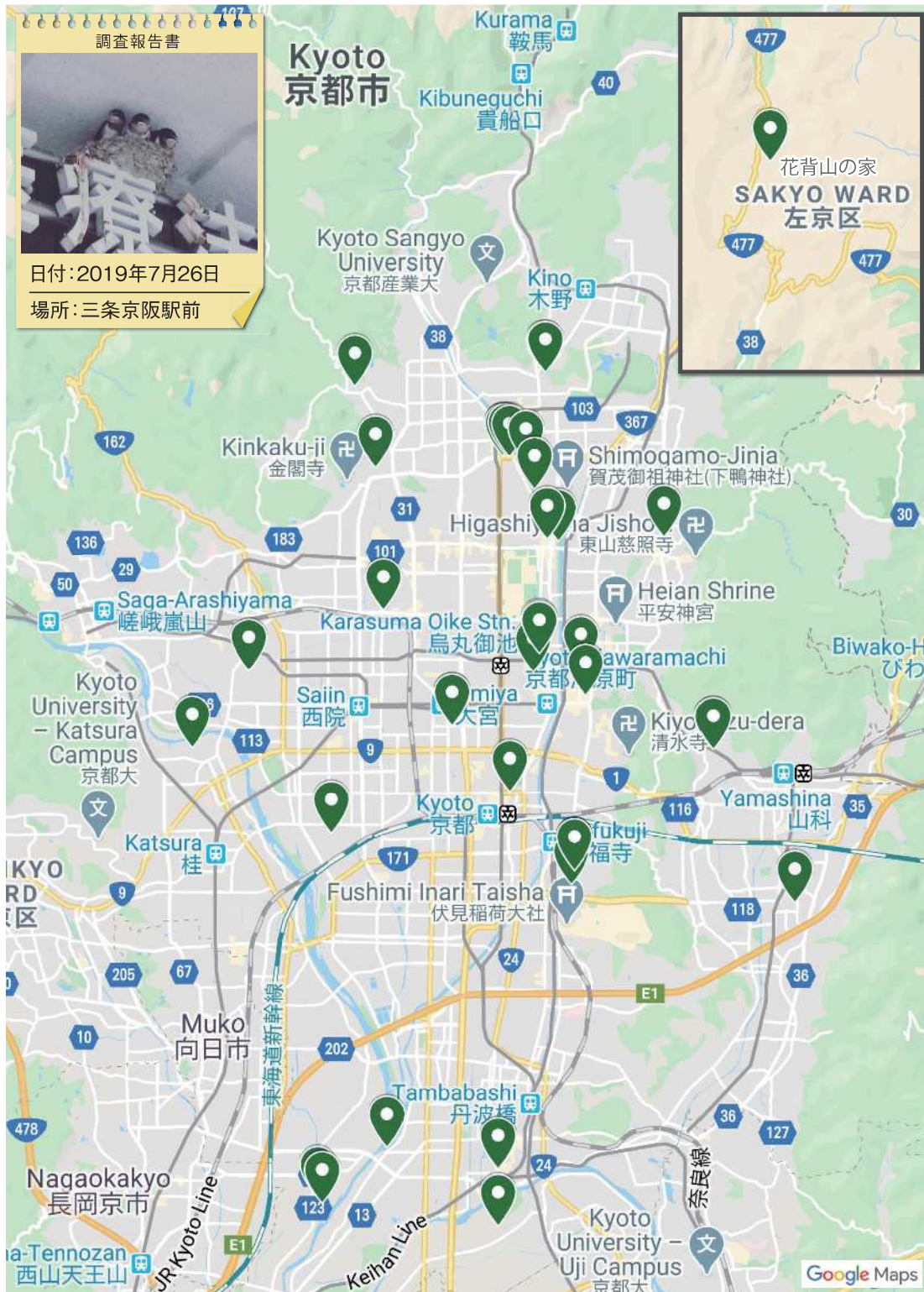
本調査により多くの生息情報が集まることで、本市の自然環境の“いま”が分かり、自然環境を守るための取組につなげることができます。

今後の調査に、ぜひご参加ください!





# ツバメが見つかった場所



【報告件数(月別)】

4月	0	5月	3	6月	6	7月	18	8月	8	9月	7	10月	12	11月	5	計	59
----	---	----	---	----	---	----	----	----	---	----	---	-----	----	-----	---	---	----



ツバメが見つかった場所

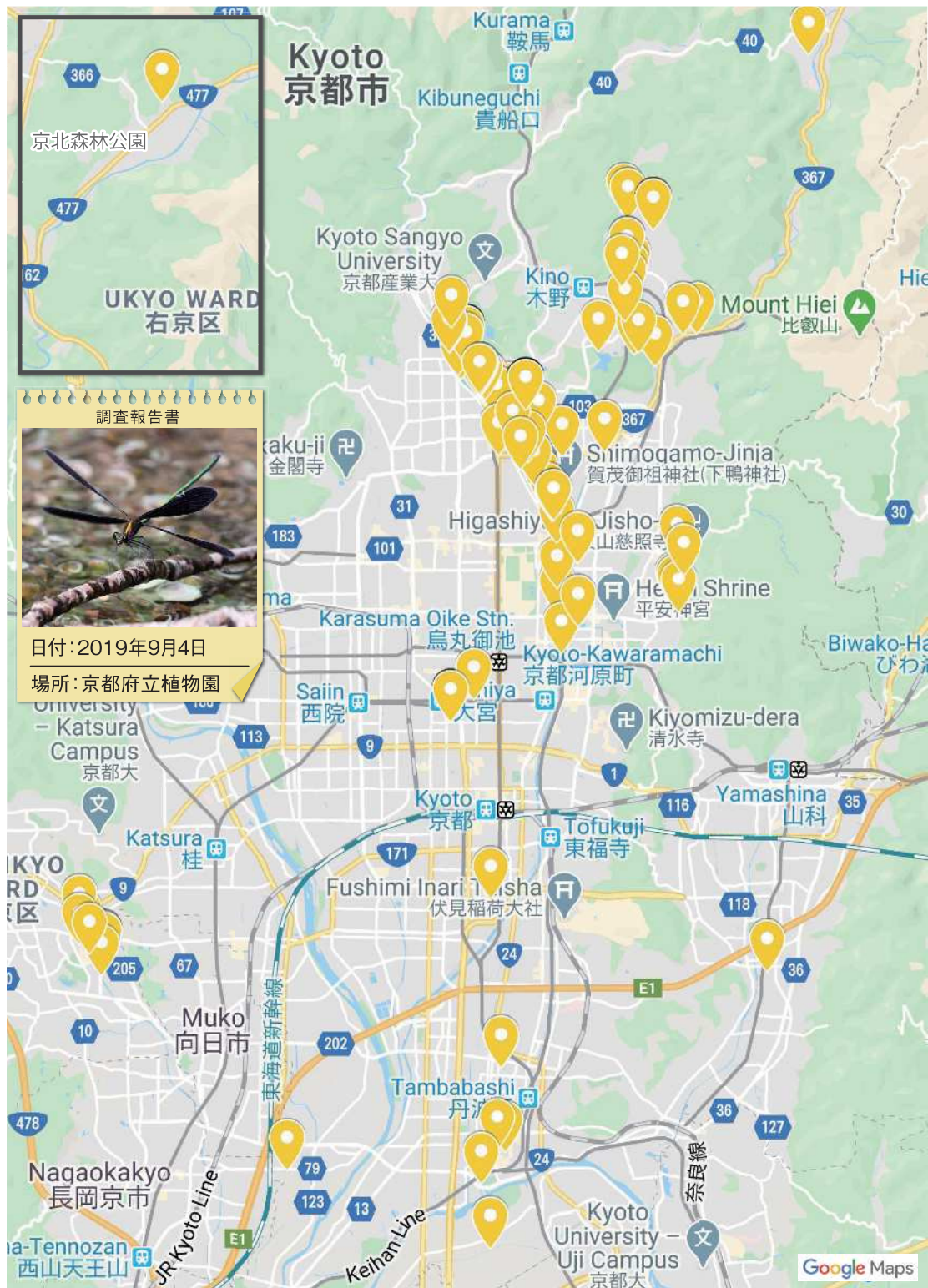
## 分かったこと

- 市内の広範囲でツバメが確認されました。
- ツバメの巣が報告された地点は、近くに巣を作りやすい民家、巣の材料となる土・ワラ、餌となる虫が採れる河川や田んぼ、公園などがあることが確認され、ツバメが子育てしやすい環境であると考えられます。
- ツバメのほか、橋やビルなどに巣をつくるイワツバメや腰が赤いコシアカツバメも見られました。





# ハグロトンボが見つかった場所



【報告件数(月別)】

4月	0	5月	0	6月	0	7月	12	8月	58	9月	35	10月	19	11月	1	計	125
----	---	----	---	----	---	----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	---	---	-----



ハグロトンボが見つかった場所

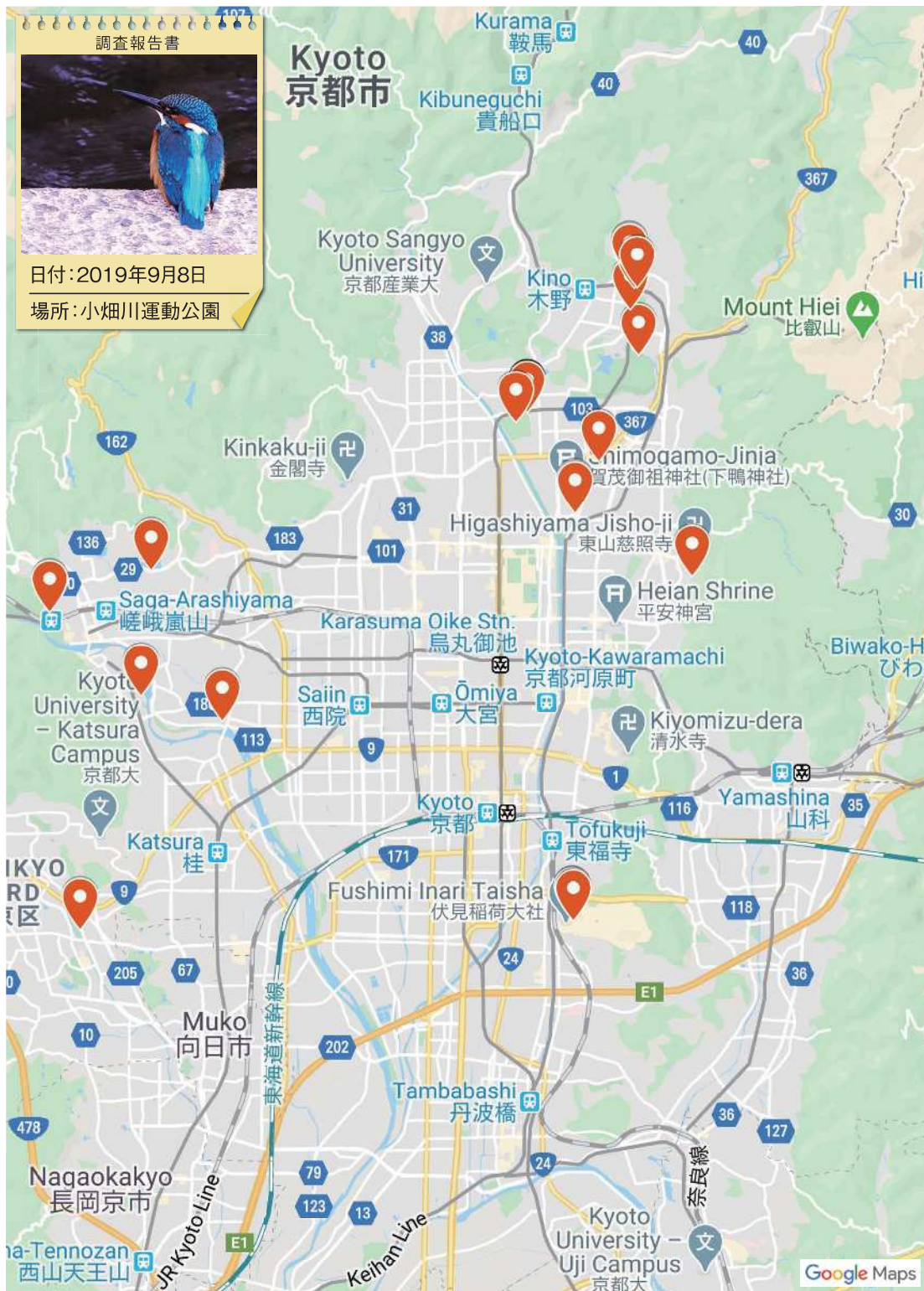
## 分かったこと

- ・市内の広範囲でハグロトンボが確認されており、特に鴨川、岩倉川などで多くの報告がありました。
- ・ハグロトンボの報告地点の近くには、河川などの水草の豊かな水辺に加えて、若い成虫期に過ごす樹林などの緑地が広がっていると考えられます。
- ・宇治川や桂川は、水辺と樹林環境がそろっており、ハグロトンボが生息している可能性はあるが、川幅が広く、川岸に近づきにくいいため、確認が難しかったと考えられます。





# カワセミが見つかった場所



【報告件数(月別)】

4月	2	5月	0	6月	2	7月	2	8月	1	9月	11	10月	21	11月	16	計	55
----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	----	----	-----	----	-----	----	---	----



カワセミが見つかった場所

## 分かったこと

- 岩倉川, 高野川などの河川のほか, 広沢池や伏見稲荷大社, 法然院, 京都府立植物園内などの池で確認されており, 市内各所で生息していることが分かりました。
- カワセミの報告地点の近くには, カワセミの餌となる小魚等が住める水辺環境があると考えられます。実際に, 今回の調査では, 市民の皆様から魚類・アメリカザリガニを捕まえる様子が報告されました。